



いきいき

小富士っ子



R5 学校便り No23

令和6.3.6

四国中央市立
小富士小学校

AI と共に生きる

昨年のことになりますが、宅配業者に集荷（発送する荷物を取りに来てもらう）を依頼しようと電話を掛けました。自動音声の案内で番号を入力していくと「AIオペレーターにおつなぎします。」とのアナウンスがありました。それに続いて、AIオペレーターなるものが「集荷のご依頼ですね。」と言ってきた後、こちらの反応を待っているのか、少し間があったので、「はい」と答えました。すると、「それでは、…」と話し始め、名前と住所を尋ねてきたので「鈴木です」「四国中央市〇〇町〇〇番地」と答えると、復唱し始めるのですが、名前は「鈴木様」と言うし、住所は愛媛県から言うので、感心しました。その後のやり取りも、声質が若干機械的なことを除けば、まるで人と変わらない感じで会話がスムーズに進んでいきます。それどころか、相手はAIなのに、こちらの方がなんだか緊張して、ぎこちない感じになってしまいました。「最後に…」と、不明な点や何か質問などないかを最終確認してきた時に、集荷の希望時間を伝え忘れていたことを思い出したので、「できるだけ、この後早い時間に集荷に来てほしい」ことを伝えると、AIオペレーターは集荷の予定時刻を答え、それで良いかを確認してきました。これほど臨機応変に対応するのかと驚かされました。

ほんの少し前のSF映画などに出てきたテレビ電話や空飛ぶ自動車などは、あっという間に現実の物となっています。技術はすさまじい速さで進歩しています。子どもたちが社会で活躍する未来は、どんな様子でしょうか。自動化や無人化がますます進み、今ある仕事の多くがAIに取って代わられているかもしれません。今でも、AIを拒絶した生き方は現実的ではありません。しかし、何もかもAIに任せる生き方も違うと思います。では、そんな時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力は何でしょうか。どんな時代になっても、人間に求められる能力が変わっても、まずは「生きる力」が必要です。具体的には「**確かな学力**」「**豊かな人間性**」「**健康と体力**」です。新しいことや分からないことを解くために、基盤となる**知識や技能**に加えて、**学びに向かう力**が必要です。多様性を受け入れる寛容な心など**人間性**を磨かなければなりません。いつか起こるだろう想定外の困難に打ち勝ち、未来を切り拓くために、**心と体が健康**でなければなりません。また、学校では、体験学習やデジタルとアナログを融合した授業などを通して、自分で「読み 書き 計算」をすることを大切に、ICTに頼らない生き方も学ばせたいと思います。そして、子どもたちには、AIと共に生きていける人になってほしいと願っています。皆さんもAIを拒絶したり、頼り過ぎたりせずに、どうすれば共存できるかを考えてみてはどうでしょうか。



6年生を送る会

3月4日（月）に6年生を送る会と送別遠足を行いました。遠足は、コロナ禍のせいもあってできていませんでしたが、天気にも恵まれ4年ぶりに行って、みんな楽しめました。遠足へ行く前の6年生を送る会では、1～5年生が、大好きな6年生へ心を込めた出し物を行い、感謝の気持ちを伝えました。6年生は、1～5年生を



また楽しませてくれて、とっても素敵な会になりました。最後に「思い出」というプレゼントを互いに送り合うことができたようでした。

ホームページもご覧ください。 <https://kofuji-e.esnet.ed.jp/>